

豊田工業高等専門学校	開講年度	平成31年度(2019年度)	授業科目	保健体育ⅣA
科目基礎情報				
科目番号	04102	科目区分	一般 / 選択必修(体)	
授業形態	実技	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	建築学科	対象学年	4	
開設期	前期	週時間数	2	
教科書/教材	「ACTIVE SPORTS」(大修館書店) 「運動と健康の科学」(鈴木製本所) / プリント ビデオ教材			
担当教員	伊藤道郎, 鈴木康平			

### 到達目標

- (ア)備品を大切にし準備やあとかたづけができる。
- (イ)各自の運動能力が把握できる。
- (ウ)基本的な技術を積極的に学習できる。
- (エ)協力してゲームを運営できる。
- (オ)テニスの歴史とルールを理解できる。
- (カ)安全に留意して学習を進めることができる。
- (キ)食生活と健康の関係について説明できる。
- (ク)食事のバランスについて説明できる。

### ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
	数人でグループを作り、決められたグループ内のメンバーで協力してスポーツテストが実施できる。	クラス内のメンバーと協力してスポーツテストが実施できる。	協力してスポーツテストが実施できない。
	テニスに必要な技術を習得し、クラス内のメンバーと協力してシングルスとダブルスの試合が実施できる。	クラス内のメンバーと協力してシングルスとダブルスの試合が実施できる。	協力してテニスの試合が実施できない。
	健康に対する食生活の重要性を理解し、自らの考えを述べることができる。	健康に対する食生活の重要性が理解できる。	健康に対する食生活の重要性が理解できない。

### 学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 E1 日本や世界の文化や歴史を、地球的な視点から多面的に認識し、建築技術が社会に与える影響を理解する能力を修得する。

JABEE a 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養

本校教育目標 ⑤ 技術者倫理

### 教育方法等

概要	テニスでは、個人の運動能力に合わせて技術を学習し、試合で積極的に実施できる能力を育成する。また、生涯スポーツとして活用していくように、試合のマナー、ルールについても学習する。保健では、食事と健康について考え、食生活をコントロールすることによって、健康の維持増進ができるようにする。
授業の進め方・方法	
注意点	

### 選択必修の種別・旧カリ科目名

### 授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1週	スポーツテスト(握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び)	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳びの測定を実施することができる。
	2週	スポーツテスト(50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ)	50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げの測定を実施することができる。
	3週	スポーツテスト(シャトルラン)	シャトルランの測定を実施することができる。
	4週	ボールコントロール(グリップ、ラケットコントロール、ボレーゲーム)	グリップの握り方やラケットコントロールが理解できる。
	5週	ストローク(フォア-ハンド、バックハンド、半面ゲーム)	フォアハンドとバックハンドの動きが理解できる。
	6週	3-3のゲーム(ボレー、ストローク、サーブ)	ボレーとサーブの動きが理解できる。
	7週	サーブ(アンダーハンドサーブ、スライスサーブ、スピニングサーブ)	いくつかのサーブ方法が理解できる。
	8週	スマッシュとロブ	スマッシュとロブについて理解できる。
2ndQ	9週	テニスの歴史とルール	テニス歴史とルールが理解できる。
	10週	ダブルスゲーム	ダブルスゲームの進行が理解できる。
	11週	ダブルスゲーム	ダブルスゲームが実施できる。
	12週	シングルスゲーム	シングルスゲームの進行が理解できる。
	13週	シングルスゲーム	シングルスゲームが実施できる。
	14週	食生活と健康(栄養、食生活の大切さ、バランス)	食生活と健康について理解できる。
	15週	食生活と健康(栄養、食生活の大切さ、バランス)	健康維持・増進のための食生活について自らの考えを述べることができる。
	16週		

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		スポーツテスト	実技課題	保健	合計
総合評価割合		20	60	20	100

基礎的能力	20	60	20	100
-------	----	----	----	-----